

教科目標

作業療法士科

1. 養成目的

作業を基盤とした実践を通し、一人ひとりの健康と幸福を考え、自ら行動し続ける
作業療法士を養成します

2. 教育目標

作業の専門家として、人、作業、環境の関係を構造的に理解し、一人ひとりの生活に
寄り添うための知識、技術、態度を身につける。

3. カリキュラム

教育内容	科 目	総単位数 (総時間数)
基礎科目	学習探究講座A 学習探究講座B 人の生活と作業 一般心理学 情報処理入門 医療生命倫理 コミュニケーション論 幼児の心理学 障害児保育 学生生活論	24 (360)
専門基礎科目	解剖学 解剖学演習 生理学 生理学演習 病理学 運動学 運動学演習 人間発達学 臨床心理学 基礎医学特論Ⅰ 基礎医学特論Ⅱ 内科系医学 外科系医学 精神科系医学 小児科系医学 脳神経系医学 一般臨床医学Ⅰ 一般臨床医学Ⅱ リハビリテーション概論 社会福祉概論 多職種連携論 職業リハビリテーション	53 (840)
専門科目	基礎作業学 基礎作業学実習 作業療法理論 作業療法管理学 身体運動系作業療法評価学Ⅰ 身体運動系作業療法評価学Ⅱ 身体運動系作業療法評価学演習 精神心理系作業療法評価学Ⅰ 精神心理系作業療法評価学Ⅱ 精神心理系作業療法評価学演習 作業療法総合評価学演習 運動器障害作業療法治療学 運動器障害作業療法治療学演習 神経系障害作業療法治療学 神経系障害作業療法治療学演習 精神心理系作業療法治療学 精神心理系作業療法治療学演習 発達過程作業療法治療学 発達過程作業療法治療学演習 高齢期障害作業療法治療学 高齢期障害作業療法治療学演習 高次脳機能障害作業療法治療学 高次脳機能障害作業療法治療学演習 義肢装具学 義肢装具学演習 日常生活活動学 日常生活活動学演習 地域作業療法学Ⅰ 地域作業療法学Ⅱ 臨床実習Ⅰ（訪問通所）臨床実習Ⅱ（見学）臨床実習Ⅲ（評価）臨床実習Ⅳ（総合Ⅰ）臨床実習Ⅴ（総合Ⅱ）臨床実習Ⅵ（訪問通所）実習準備教育Ⅰ 実習準備教育Ⅱ 実習準備教育Ⅲ 実習準備教育Ⅳ 実習準備教育Ⅴ・Ⅵ	75 (2,115)
その他	作業療法特論Ⅰ 作業療法特論Ⅱ 作業療法特論Ⅲ 作業療法特論Ⅳ 作業療法特論Ⅴ 作業療法特定研究Ⅰ 作業療法特定研究Ⅱ 作業療法特定研究Ⅲ 作業体験Ⅰ 作業体験Ⅱ	28 (450)
合 計		180 (3,765)

4. 学年・学期目標

1年	学年目標	人の生活と作業を知り、自己の活動性を高めることができる。
	前期目標	人が営む生活とそれを構成する要素のつながりを考えられる。
	後期目標	生活と作業に関心を持ち、活動の幅を広げることができる。
2年	学年目標	作業を妨げる状態や状況を理解し、他者を尊重する態度を身につける。
	前期目標	生活する上で妨げとなる病気等の構造と影響を学ぶことができる。
	後期目標	病気や障害を抱えながら生活する人々の強さと弱さを理解できる。
3年	学年目標	作業を獲得する手段を理解し、人の生活をイメージして実践できる。
	前期目標	臨床場面で実際に行われていることを理解し、その人に合わせた評価ができる。
	後期目標	作業の意味・機能・形を意識した実践ができる。
4年	学年目標	卒業時の自己像をイメージしながら、個々の目標に向けて行動することができる。
	前期目標	今までの学習を結びつけて、卒業時の自己イメージを明確化する。
	後期目標	社会や人に貢献するための資格取得に向けて、総合的に学習活動を行うことができる。

5. 取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
作業療法士受験資格	必	厚生労働省	指定科目を履修し、国家試験受験資格を認定
幼稚園教諭二種免許	選	文部科学省	近畿大学九州短期大学通信教育を併習し、卒業時まで全単位取得で資格取得

6. 就職分野

就職分野	職 種
一般・総合リハビリテーション病院	作業療法士
児童福祉施設	作業療法士
精神科病院	作業療法士
介護老人保健施設	作業療法士
社会福祉施設(高齢者・障害児者施設など)	作業療法士
公務員	作業療法士

2026年度 教科課程

作業療法士科

1年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎科目	学習探究講座A	Learning Inquiry Course A	基礎	必修	講義	4	60	60		自身の学習方法の特徴を把握し、学習理論に基づいた勉強方法を理解することによって、主体的に自ら学び続ける習慣を身につける。また、様々な情報を客観的・批判的に吟味して、統合整理する思考を身につけ、自分の考えを表現する能力を身につける。
	学習探究講座B	Learning Inquiry Course B	基礎	必修	講義	2	30		30	自身の学習方法の特徴を把握し、学習理論に基づいた勉強方法を理解することによって、主体的に自ら学び続ける習慣を身につける。また、様々な情報を客観的・批判的に吟味して、統合整理する思考を身につけ、自分の考えを表現する能力を身につける。
	人の生活と作業	Functioning in Living	基礎	必修	講義	4	60	30	30	人の生活を構成する要素について概観し、ICF(国際生活機能分類)が提示している内容、実際の生活レベルで理解する。
	一般心理学	Psychology	基礎	必修	講義	2	30		30	人の心の基本的な仕組みについて理解し、人の心理を考える手がかりとなる知識と、化学的に心を解明する方法について学ぶ。
	情報処理入門	Basic of Information Technology	基礎	必修	講義	2	30	30		コンピュータの仕組みを簡単に理解し、Word・Excelなどコンピュータソフト技能を身に付けるとともに、現代社会に必要なセキュリティについても学ぶ。
	医療生命倫理	Medical Bioethics	基礎	必修	講義	2	30		30	医療・生命に携わる専門家として持ち合わせるべき倫理を学ぶ。医療倫理の歴史的変遷から現代に受け継がれている考え方を知り、生命をめぐる倫理(道徳・規範)的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における具体的な問題に対処できる思考能力を身につける。
	コミュニケーション論	Communication Theory	基礎	必修	講義	2	30	30		良好な人間関係を築き、協働することができるコミュニケーション能力を身につける。カウンセリング理論を中心とした人間関係論や相互交流のリーゼンツについて理解する。省察により自己理解を深めることによって、対話スキル、自己表現スキル、社会的スキルなどを身につける。
	学生生活論	Student Life	基礎	必修	講義	2	30	30		作業療法士を目指す学生一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。
専門基礎科目	解剖学	Anatomy	専門基礎	必修	講義	6	90	60	30	人体の構造を客観的に捉え、正確に記録・伝達するために必要な解剖学用語と記載法を学ぶ。人体の諸構造を系統的に整理し、機能との関連づけを通して、今後習得していく運動学、臨床医学を理解するのに十分な解剖学的知識を習得する。特に骨学、筋学、神経系の構成について集中的に学び習得する。
	生理学	Physiology	専門基礎	必修	講義	6	90	60	30	人体の機能を客観的に捉え、正確に記録・伝達する能力を身につける。人体機能を記述する専門用語の内容を説明することができる。具体的には神経細胞、神経伝達、反射について説明できる。中枢神経系、筋と骨、諸感覚器官の構造と機能、血液の組織と機能などを理解する。
	運動学	General Kinesiology	専門基礎	必修	講義	6	90	60	30	人間の身体運動を科学的に分析研究することより得られた運動器の構造や機能、正常運動の特性について総論的に説明出来るようになる。
	基礎医学特論Ⅰ	Method of biochemistry I	専門基礎	必修	講義	2	30		30	解剖学と生理学の要点を理解し、人体の基本的な構造や機能の理解に応用する能力を身につける。特に骨・筋・神経を中心とした構造と機能について、循環器系、消化器系、泌尿器系、呼吸器系、中枢神経系等の働きについて理解・説明することができる。
	リハビリテーション概論	Introduction for Rehabilitation	専門基礎	必修	講義	2	30		30	リハビリテーションの理念、歴史、目的をはじめ医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションを総合的に理解することにより、リハビリテーションにおける作業療法の位置について説明できるようになる。国際障害分類(ICIDH)と国際生活機能分類(ICF)の思想、個人モデルと社会モデルについて理解する。リハビリテーションの過程と諸相について理解する。

専門科目	基礎作業学	Basic Theory and Practice for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30	作業の概念を理解することで、作業療法が作業に基づく実践であることを多角的に説明する能力を身につける。作業の定義、作業の目的別区分(生産活動、遊び、セルフケア)について理解する。作業・活動分析の目的と形式を理解する。
	基礎作業学実習	Basic Theory and Practice for Occupational Therapy I	専門	必修	実習	2	90	90	様々な作業活動を体験し、作業の工程や必要な道具・環境を学ぶ。また作業活動の実体験から実施・参加の意義を感得し、それを表現することによって治療的な活用に展開するための素地を形成する。
	作業療法理論	Theory for Occupational Therapy	専門	必修	講義	2	30	30	作業療法の起源や歴史、および定義や治療理論などを作業療法学としての学問的基礎知識と記録・報告などの基礎技法を学ぶとともに、作業療法を展開するうえで必要な作業療法理論とその周辺領域の理論について学ぶ。
	地域作業療法学 I	Occupational Therapy for Community-Based Rehabilitation	専門	必修	講義	2	30	30	地域における作業療法をとりまく医療・福祉の理念、サービス体系、推進方法などを学び、地域包括ケアの概念の中で作業療法士の果たす役割について理解する。
	臨床実習 I (訪問通所)	Basic Clinical Fieldwork I	専門	必修	実習	1	45	45	訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションを利用する対象者を通して、障害を抱えながら地域で生活することの実際やそれに対する作業療法のあり方について体験的に学ぶ。
	実習準備教育 I	Training preparation education	専門	必修	演習	1	30	30	臨床実習 I でより効果的な学習ができるよう、必要な知識や技術の事前学習を実施する。また、実習終了後に自身の経験の振り返りと他者との共有を行うことによって、学習した内容と今後の課題を整理する。
その他	作業療法特定研究 I	Occupational Therapy Specific Research	その他	必修	講義	2	30	30	作業療法士にとって必要な作業療法学研究を実施する基盤を作る。
	作業体験 I	Occupation Experience I	その他	選択必修	演習	1	30	30	様々な作業体験を通して、作業の特性や意味、その作業を行うひとの価値観を理解する。
			1年次 設置総単位数 55単位 最低取得単位数 54単位						1年次 設置総時間数 945時間 最低履修時間数 915時間

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、50単位以上60単位未満とする
【標準年次別時間数・単位数】

1年次	時間 / 単位
2年次	時間 / 単位
3年次	時間 / 単位
4年次	時間 / 単位

※ 1年次の「作業体験 I」と2年次の「作業体験 II」は選択必修科目であるため、とちらか一方の履修が必須。

2027年度 教科課程

作業療法士科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
基礎科目	幼児の心理学	Child Psychology	専門基礎	必修	講義	2	30		30	子どもの発達に関わる心理的基礎を学び、子どもの発達段階における心理的な成長を理解する。
	障害児保育	Childcare for disabled children	専門基礎	必修	講義	2	30		30	子どもに纏わる様々な病気や障害について理解し、保育における発達の援助、環境構成について学ぶ。
専門基礎科目	解剖学演習	Practice for Anatomy	専門基礎	必修	演習	1	30	30		解剖学で得られた骨・筋・神経の知識に加え、人体を構成する胸部・腹部の内臓、脈管系感覚器の基本的構造・形態・機能について説明出来るようになる。
	生理学演習	Practice for Physiology	専門基礎	必修	演習	1	30	30		生理学で得られた知識を深めるとともに、生体の反射調節・運動機構について説明出来るようになる。
	病理学	Basic of Pathology	専門基礎	必修	講義	2	30	30		病理学は病気の原因とメカニズムを明らかにすることを目的とする学問であり、疾患や障害を理解する上では重要な知識である。ここでは組織学的形態学を中心に概観し、病気がどのように成り立っていくのかを理解する。
	運動学演習	Practice for General Kinesiology	専門基礎	必修	演習	1	30	30		解剖学や生理学および物理学の知識を基に、人間の身体運動を科学的に分析して理解する能力を身につける。運動器の構造や機能、正常運動の特性について体験的に理解する。具体的には生体力学の基礎及び生体の構造と機能について体験的に触れることで理解する。作業・動作及び姿勢の分析を実行することができる。
	人間発達学	General Human Development	専門基礎	必修	講義	2	30	30		人間発達の基礎として、各段階における身体と運動機能の発達、知的・心理的・社会的発達、人格の発達を説明出来るようになる。
	臨床心理学	Clinical Psychology	専門基礎	必修	演習	2	30		30	心理学の基礎知識、臨床心理学を学び、かつ心理的な対人援助の方法と実際について理解することで、医療・福祉の現場で人を心理的に支援する能力を身につける。日常生活における心の健康、知覚・学習・記憶・心理社会・発達などの基本概念、及び代表的な心理療法、心理検査について理解する。
	基礎医学特論Ⅱ	Method of biochemistryⅡ	専門基礎	必修	講義	2	30		30	臨床実習で必要となる上肢、下肢を中心とした人体の運動機能と、解剖生理学で学んだ基礎医学の知識を統合し理解を深める。特に上肢・下肢・脊柱の神経支配や運動機能、姿勢や運動学習等について理解・説明することができる。
	内科系医学	Internal Medicine	専門基礎	必修	講義	2	30	30		病理学概論、及び内科疾患を記述する専門用語の内容を理解し、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識を習得することで、臨床における観察力を培う。 病因論、変性、萎縮、細胞死などの理解とともに、循環器疾患、肺疾患、消化器疾患、代謝栄養関連疾患、内分泌疾患等について理解する。心電図の異常と病態を結びつけることができる。
	外科系医学	Orthopedics	専門基礎	必修	講義	2	30		30	運動器(骨・関節・筋・神経など)に関する外傷や疾患を中心に、これらから発生する症状や障害について理解する。運動障害論の概要を理解した上で、体幹疾患(頸椎症・ヘルニアなど)、骨折、末梢神経損傷、関節リウマチ、外傷で発生する代表的障害などを理解する。
	精神科系医学	Psychiatric Medicine	専門基礎	必修	講義	2	30	30		精神疾患の病態、病型と分類並びに精神疾患から派生する障害を理解し、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識を習得することで、臨床における観察力を培う。精神科作業療法の実践に結びつける。 ICD10に基づいて、基本的な精神障害の病名と特徴を理解する。薬物療法、地域生活・就労支援等について理解する。
	小児科系医学	Pediatrics	専門基礎	必修	講義	2	30		30	小児の成長・発達及び小児の病態・障害を理解し、子どもと保護者への支援に活かす能力を身につける。 具体的には、神経系(脳性まひ、てんかん、発達障害など)、遺伝子・染色体異常(ダウン症候群など)、筋ジストロフィーなどの障害と臨床医学(リハビリテーション)について理解する。

	脳神経系医学	Neurology	専門基礎	必修	講義	2	30	30		末梢および中枢神経系機能の障害に起因する疾病を理解するとともに疾病から派生する障害と臨床医学(リハビリテーション)について説明できるようになる。 主に中枢神経系の構造・機能と結び付けて神経障害論を理解する。脳波について、その概要・要点を理解・説明することができる。
	一般臨床医学Ⅰ	Introduction to Clinical Medicine I	専門基礎	必修	講義	2	30	30		医学とは何か、またどのように発展してきたか歴史と過程を学ぶ。また医療機関の特徴や、医療者として必要な心構えや標準予防策を実践するための知識を学ぶ。
	一般臨床医学Ⅱ	Introduction to Clinical Medicine II	専門基礎	必修	講義	2	30	30		健康の基本的概念と疾病に関する概念、予防医学、栄養学、臨床薬学、画像診断学、救急救命医学の概要を理解することにより、様々な臨床判断の理論的背景について説明できるようになる。特に臨床医学の全体像、診察→検査→治療の流れ、生理学的検査、画像検査、薬物療法、リハビリテーション、手術療法、クリニカルパス等について理解する。
	社会福祉概論	Social Welfare	専門基礎	必修	講義	2	30	30		社会福祉の基本概念、その運動と歴史を学ぶことにより、多様な人々の生活と社会の力動性を理解した上で対象者に関与できる能力を身につける。社会保障論、障害者福祉論、社会福祉法制度の基盤と社会福祉の機構について理解する。医療、自立支援、児童福祉、高齢者福祉等を包括する地域包括ケアシステムについてその要点を理解する。
	多職種連携論	Multiprofessional Cooperation Theory	専門基礎	必修	講義	2	30	30		異なる専門的背景を持った専門職が、どのように効率よく連携や協働を行うかについての事例を通して学び、そのためのマネジメントの方法について理解する。
専門科目	身体運動系作業療法評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Physical Function I	専門	必修	講義	2	30	30		主に成人における身体障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	身体運動系作業療法評価学Ⅱ	Occupational Therapy Assessment for Physical Function II	専門	必修	講義	2	30	30		身体運動系作業療法評価総論について理解する。これまでに学んだ基礎知識を踏まえ、これら領域の基礎的な評価技法を習得する。また身体障害領域の臨床において実際に評価をする総合的な能力を身につける。
	身体運動系作業療法評価学演習	Occupational Therapy Assessment for Physical Function Practice	専門	必修	演習	1	30	30		身体運動系評価の定義、評価の手順、情報収集と解釈について理解する。対象者の基本情報を基に評価計画を立てることができる。評価面接と観察と記録の基本的な技法を身につける。各領域のアセスメント法及び代表的疾患の評価事例について理解する。
	精神心理系作業療法評価学Ⅰ	Occupational Therapy Assessment for Mental Function I	専門	必修	講義	2	30	30		主に精神障害領域でのリハビリテーション評価全般と、一般的な作業療法評価について学ぶ。
	精神心理系作業療法評価学Ⅱ	Occupational Therapy Assessment for Mental Function II	専門	必修	講義	2	30	30		精神障害作業療法評価総論について理解する。これまでに学んだ精神障害領域、高齢期領域の基礎知識を踏まえ、これら領域の基礎的な評価技法を習得する。またこれら領域の臨床において実際に評価をする総合的な能力を身につける。
	精神心理系作業療法評価学演習	Practice for Occupational Therapy Assessment for Mental Function	専門	必修	演習	1	30	30		精神心理系評価の定義、評価の手順、情報収集と解釈について理解する。対象者の基本情報を基に評価計画を立てることができる。評価面接と観察と記録の基本的な技法を身につける。各領域のアセスメント法及び代表的疾患の評価事例について理解する。
	作業療法総合評価学演習	Occupational Therapy Comprehensive Evaluation Seminar	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習Ⅲ(評価)に向けて、身体運動系疾患、精神心理系疾患の症例を用いて、必要な評価項目の選定や評価結果の関連性から全体像を推論し、作業療法の計画立案を実践する。
	義肢装具学	Prosthetists and Orthotists	専門	必修	講義	2	30	30		演習を通して、義肢装具に関する基礎知識を習得し、作業療法実践に有効に用いる能力を身につける。四肢の切断に対する義肢や装具に関する基礎的な知識(定義・分類・適応・適合判定など)を得る。実際の義肢装具を触れ操作することによって理解を深める。実際にコックアップスプリント、指用ナックルベンダーを作成する。義肢装具にかかわる作業療法士の役割を理解する。
	日常生活活動学	Activity of Daily Living	専門	必修	講義	2	30	30		ICFにおける生活機能を概観し、日常でその生活機能に支障があった場合の改善策について理解し、工夫の方法を学ぶ。

	日常生活活動学演習	Practice of Activity of Daily Living	専門	必修	演習	1	30	30	日常生活活動に参加する能力を高める作業療法を実践できるようになる。作業療法の視点から日常生活活動を理解し述べることができる。日常生活活動の各活動について分析し特性を説明する。生活関連動作や社会的活動について理解し具体的に述べる。日常生活活動の定量評価について学び測定することができる。
	臨床実習Ⅱ（見学）	Clinical Training II (Observation)	専門	必修	実習	1	45	45	医療機関や福祉施設等の作業療法を見学し、対象者の回復過程、生活動作や意味のある作業の再獲得について体験的に学ぶ。
	実習準備教育Ⅱ	Practical training preparation education II	専門	必修	演習	1	30	30	臨床実習Ⅱでより効果的な学習ができるよう、必要な知識や技術の事前学習を実施する。また、実習終了後に自身の経験の振り返りと他者との共有を行うことによって、学習した内容と今後の課題を整理する。
その他	作業療法特定研究Ⅱ	Occupational Therapy Special Research II	その他	必修	講義	2	30	30	作業療法士にとって必要な作業療法学研究を実施する基盤を作ると共に、作業療法に関する基本的な知識の定着を図る。
	作業体験Ⅱ	Occupation Experience II	その他	選択必修	演習	1	30	30	様々な作業体験を通して、作業の特性や意味、その作業を行うひとの価値観を理解し、作業療法との関連性を考えることができる。
			2年次 設置総単位数 54単位 最低取得単位数 53単位						2年次 設置総時間数 975時間 最低履修時間数 945時間

（履修科目の下限と上限）1年間に履修する授業科目は、41単位以上49単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	時間 / 単位
2年次	時間 / 単位
3年次	時間 / 単位
4年次	時間 / 単位

※ 1年次の「作業体験Ⅰ」と2年次の「作業体験Ⅱ」は選択必修科目であるため、とちらか一方の履修が必須。

2028年度 教科課程

作業療法士科

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	運動器障害作業療法治療学	Occupational Therapy for Physical Disorders	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、運動器障害領域における疾患や障害の基礎知識を基に、中枢神経系身体障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	運動器障害作業療法治療学演習	Occupational Therapy Seminar for Musculoskeletal Disorders	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習に向け、運動器障害領域における疾患や障害の基礎知識を基に、中枢神経系身体障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	神経系障害作業療法治療学	Occupational Therapy for Neurological Disorders	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、中枢神経系身体障害領域における疾患や障害の基礎知識を基に、中枢神経系身体障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	神経系障害作業療法治療学演習	Occupational Therapy Exercises for Neurological Disorders	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習に向け、中枢神経系身体障害領域における疾患や障害の基礎知識を基に、中枢神経系身体障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	精神心理系作業療法治療学	Occupational Therapy for Mental Disorders	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、精神障害と作業療法に関する基礎知識と疾患による生活の困難さを関連付け、治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	精神心理系作業療法治療学演習	Psychiatric Occupational Therapy Seminar	専門	必修	演習	1	30		30	臨床実習に向け、精神障害と作業療法に関する基礎知識と疾患による生活の困難さを関連付け、治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	発達過程作業療法治療学	Occupational Therapy for Developmental Disorders	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、子どもの正常発達（運動と認知）と発達障害に関する基礎知識を基に、発達障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	発達過程作業療法治療学演習	Developmental Process Occupational Therapy Seminar	専門	必修	演習	1	30		30	臨床実習に向け、子どもの正常発達（運動と認知）と発達障害に関する基礎知識を基に、発達障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	高齢期障害作業療法治療学	Occupational Therapy for Geriatric Disorders	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、老年期領域における疾患や障害の基礎知識を基に、老年期障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	高齢期障害作業療法治療学演習	Occupational Therapy Seminar for Elderly Disabilities	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習に向け、老年期領域における疾患や障害の基礎知識を基に、老年期障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	高次脳機能障害作業療法治療学	Occupational Therapy for Brain Dysfunction	専門	必修	講義	2	30	30		臨床実習に向け、高次脳機能障害の基礎知識を基に、高次脳機能障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な知識を身につける。
	高次脳機能障害作業療法治療学演習	Seminar on occupational therapy for higher brain dysfunction	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習に向け、高次脳機能障害の基礎知識を基に、高次脳機能障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。

	義肢装具学演習	Prosthetics and Orthotics Seminar	専門	必修	演習	1	30		30	義肢装具を必要とする疾患や障害を有する対象者への治療・援助計画に必要な技術を身につける。
	臨床実習Ⅲ（評価）	Clinical Training III (Evaluation)	専門	必修	実習	4	180	180		臨床（評価）実習指導者のもとに、各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案までの流れを実施する事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。
	臨床実習Ⅳ（総合Ⅰ）	Clinical Training IV (Comprehensive I)	専門	必修	実習	8	360		360	臨床実習指導者のもとに、各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。
	実習準備教育Ⅲ	Practical Training Preparation III	専門	必修	演習	1	30		30	臨床実習Ⅲでより効果的な学習ができるよう、必要な知識や技術の事前学習を実施する。また、実習終了後に自身の経験の振り返りと他者との共有を行うことによって、学習した内容と今後の課題を整理する。
	実習準備教育Ⅳ	Practical Training Preparation IV	専門	必修	演習	1	30		30	臨床実習Ⅳでより効果的な学習ができるよう、必要な知識や技術の事前学習を実施する。また、実習終了後に自身の経験の振り返りと他者との共有を行うことによって、学習した内容と今後の課題を整理する。
その他	作業療法特定研究Ⅲ	Occupational Therapy Research III	その他	必修	講義	2	30		30	作業療法に関係する研究方法について学習・演習し、臨床実習における研究の具体的方法を得る。また、作業療法分野での研究の意義を理解する。
			3年次 設置総単位数 35単位 最低取得単位数 35単位						3年次 設置総時間数 1020時間 最低履修時間数 1020時間	

（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、33単位以上40単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	時間 / 単位
2年次	時間 / 単位
3年次	時間 / 単位
4年次	時間 / 単位

2029年度 教科課程

作業療法士科

4 年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門 基礎 分野	職業リハビリテーション	Rehabilitation for Profession	専門基礎	必修	講義	2	30		30	IOFにおける「生産活動」及び就労、仕事などに関わる概念を理解することで、就労支援と生活支援の意味を理解し、実際の地域活動に参加できる能力を身につける。心理社会的発達における生産性と世代性、キャリア形成論などを理解し、人にとって職業及び働くことの意味について様々な観点から理解を深める。
	作業療法管理学	Occupational Therapy Management	専門	必修	講義	2	30	30		作業療法の臨床における制度的な統制と施設の組織的な管理について理解するとともに、職場管理の問題を同定し、自律的に思考したことを表現する能力を身につける。作業療法実践に関連する法律と諸制度について理解する。作業療法教育においては、実習指導を中心とした現場での学生指導、新人教育などの卒業後教育に必要な要素や仕組みについて理解し、自身・後進の育成におけるキャリアマップをイメージすることができる。
専門 科目	地域作業療法学Ⅱ	Occupational Therapy for Community-Based Rehabilitation II	専門	必修	講義	2	30		30	地域における作業療法をとりまく医療・福祉の理念、サービス体系、推進方法などを説明出来るようになる。
	臨床実習Ⅴ（総合Ⅱ）	Clinical Training V (Comprehensive II)	専門	必修	実習	8	360	360		臨床実習指導者のもとに、各疾患・病期・年齢層の患者について、評価→問題点の抽出→治療目標設定→治療計画立案→治療実施→再評価という流れを充分把握し作業療法を行う事が出来るようになる。実習指導者から、実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。
	臨床実習Ⅵ（訪問通所）	Clinical Training VI (Visiting Center)	専門	必修	実習	1	45	45		地域生活支援を実践する場（通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等）で実習をすることにより、地域生活における課題解決能力、支援技術を培い、地域作業療法を実践する能力を身につける。作業療法士の実習指導者から実習中の取り組みについてフィードバック等の指導を受け、実践を通して学んだ知識や経験を通常授業で学んだ事と統合する。
	実習準備教育Ⅴ・Ⅵ	Practical Training Preparatory Course V & VI	専門	必修	演習	1	30	30		臨床実習Ⅴ・Ⅵでより効果的な学習ができるよう、必要な知識や技術の事前学習を実施する。また、実習終了後に自身の経験の振り返りと他者との共有を行うことによって、学習した内容と今後の課題を整理する。
	作業療法特論Ⅰ	Special Lecture on Occupational Therapy I	その他	必修	講義	4	60	60		これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、身体障害系作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
	作業療法特論Ⅱ	Special Lecture on Occupational Therapy II	その他	必修	講義	4	60	60		これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、精神障害系作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識（主に基礎医学・臨床医学的知識）の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。

その他	作業療法特論Ⅲ	Special Lecture on Occupational Therapy III	その他	必修	講義	4	60	60	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、高齢期障害作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識(主に基礎医学・臨床医学的知識)の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
	作業療法特論Ⅳ	Special Lecture on Occupational Therapy IV	その他	必修	講義	4	60	60	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、発達過程障害作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識(主に基礎医学・臨床医学的知識)の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
	作業療法特論Ⅴ	Special Lecture on Occupational Therapy V	その他	必修	講義	4	60	60	これまでに受講した授業や臨床実習で学んだ内容の要点を整理し、発達過程障害作業療法全般の理解を深めるとともに、1・2年で学んだ基礎知識を確認することで、作業療法を系統的に理解する。専門基礎分野で学んだ知識(主に基礎医学・臨床医学的知識)の要点を確認し、総合的な学習経験と結びつける。毎回講義内容に即した学習課題を実行する。
			4年次 設置総単位数 36単位 最低取得単位数 36単位						4年次 設置総時間数 825時間 最低履修時間数 825時間

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、33単位以上40単位未満とする

【標準年次別時間数・単位数】

1年次	時間 / 単位
2年次	時間 / 単位
3年次	時間 / 単位
4年次	時間 / 単位